

各プログラムにおける教育の実施内容

学校マネジメント力開発プログラム

学校マネジメント力開発プログラムには、現職院生3名が所属した。所属院生に対しては、複数指導体制により指導した。

専攻共通科目として、「学校経営の実践と課題」「専門職としての教員の在り方とその力量形成」「岩手の教育課題」の3科目、選択科目として「学校マネジメントの理論と実践」「岩手の復興教育の実践と課題」などの5科目を開講した。また、実習科目として「学校マネジメント力開発実習」を、平成28年8月26日に岩手県教育委員会において、さらに8月30日から9月2日にかけて岩手県総合教育センターにおいて実施した。この実習を踏まえて、9月7日にリフレクションを実施し、県教育委員会の取り組みをマネジメントの視点から振り返った。
(鈴木久米男)

授業力開発プログラム

授業力開発プログラムには、現職院生3名、学卒院生7名の計10名が所属した。所属院生に対しては、複数体制により指導した。

「学力の向上と学習意欲」「ICT活用教育の実践と課題」を含め専攻共通科目及び選択科目、計11科目を開講した。また、実習科目「授業力開発実習」を現職院生は、5月～7月にかけて週1回（木曜日）に、連携協力校において10回実施した。また、学卒院生は、11月～2月にかけて附属中学校、附属小学校、附属幼稚園、附属特別支援学校において、木曜日を中心に総合実習として計20回実施し、これに対応したりフレクションを開講した。
(立花正男)

子ども支援力開発プログラム

子ども支援力開発プログラムには、学卒院生2名、現職院生1名が所属した。所属院生に対しては、複数指導体制により指導した。「心理教育的援助サービスの理論と実践」「発達援助の理論と実践」など専攻共通科目及び選択科目、計6科目を開講した。また、実習科目「子ども支援力開発実習」を後期に実施し、学卒院生9名は「教育活動を捉える観点の理解」に、現職院生7名は「学校カウンセリングの実践の試み」に取り組み、これに対応するリフレクションを展開した。
(山本奨)

特別支援教育力開発プログラム

特別支援教育プログラムには、現職院生1名が所属した。所属院生に対しては、複数指導体制により指導した。

「通常学級における特別支援教育の実践と課題」「特別支援学校の実践力Ⅰ」を含め専攻共通科目及び選択科目、計6科目を開講した。また、実習科目「特別支援教育開発プログラムⅡ」を平成28年10月31日から11月15日までの期間をもって集中的に実施し、これに対応するリフレクション科目を開講した。

(佐々木全)